

表面は赤松ならぬ、共同手配中に対する障害とはなすべからず。

3. 共同委員会主催が二月十九日「既成政治撲滅デー」演説会を仙台市東一丁目で開催し、赤松君は「この演説会を解散の恐れあり、解散は得票に悪影響を及ぼすから」との見解を演説会中述べたところ、この計画を遂行し得た。

4. 総選挙報告批判演説会
仙台市(二十日午後) 原町(二十五日夜) 田尻(二十六日夜) 不動堂(廿七日夜) で開催した。師長は演説後、赤松の組織力大なる宮城郡加美郡の得票少なりしことより、更に選挙戦は終了せざるを以て、労働党と共同委員会(共同手配)の得票を認めざるにせしめ、又労働党自ら支出せざるべからざるを以て、労働党を演説会計画に不参加を唱へた。赤松君は赤松君の地盤確立の爲のこの計画積極的支持を利用してつらに労働党を解散せしめ得た。

C 現在無産政党政文部は合同問題に對し、如何なる態度を取らるるか？

1. ①のちに述べたやうに、労働党後共同手配中選挙を認め更に報告演説会の費用負担を面白からず思ひたる師長は得票が、袖井君と衝突、我党委員の失言を口実として共同手配中を打ち切ると云ふ出でた。

2. 二月廿八日午後、袖井君を除き、赤松君の出席し、共同委員の非公的協議会を開き、共同手配中今後の対策を協議した。赤松君側には継続すべきを主張した。師長は「労働党は選挙法改正案を主張し、赤松は今後の地盤を考慮し、且労働党と共同せしめば何の活動もなし得ることを在る處に継続に賛成して師長を説き、我党が積極的

赤松君の説を支持して遂に共同手配中継続に決定せしめ、三月八日正式共同委員会を開き、赤松君を代表する事に決めた。

3. 之より先赤松君は議員以外にインテリゲンチヤ層を糾合して「東北黎明会」なる思想團體を組織せんとする計画を立てた。此計画には社民党支持の者も一々糾合せらるべし、及之を粉碎するたかに東北市大法文部教授に労働党支持の声を押しよめて、我党は社民党と共同して雑誌発行の計画を遂げ、この計画を二月二十八日赤松君演説会の席上で大々側面提議せしめ、白紙化するに至った。

4. (四月発行)予定が、夫が不可能に付、三月廿八日決定せられた三月八日の共同委員会は社民党より委員未だ未だ流会となつた。

その未だ理由は、先に述べたやうに、師長の意向が、左ほ彼が社民党を小農民組合組織に狂奔し、更に労働党のみに限らず、社民党仙台支部の再組織を同委員小川君に依頼され、その努力に基き、三月九日に師長は我党の多田君を訪問し、次の如き理由で共同手配中を断念せしめた。

5. 然るに三月九日に師長は我党の多田君を訪問し、次の如き理由で共同手配中は社民党委員の間に反対が、三月廿八日夜赤松君見送の時、於て赤松君の「歌」事件、口は労働党及日本農民組合の運動方針が過激であるを述べ、労働党の「労働党」に、日本農民組合の「労働」は注意を拂ふべきである事を述べ、労働党は例へば選挙戦は労働党と共同委員会を組むことにした。雑誌発行に對して熱心な赤松君は、労働党は共同手配中を断念せしめた。